

令和 8 年度 予算 審査 からの  
意見 ・ 提言

福知山市議会

令和 8 年 5 月 1 1 日

福 議 第 3 6 8 号

令和8年5月11日

福知山市長 大橋 一夫 様

福知山市議会議長 吉見 茂久

予算審査委員会委員長 田 淵 裕 二

### 令和8年度予算審査からの意見・提言について

予算審査委員会では、令和8年度予算審査に関連する市政の重要事項等について、令和8年3月25日に自由討議を行った。

自由討議の内容に基づき、「令和8年度予算審査からの意見・提言」として取りまとめたので、今後の行政運営及び予算執行等の参考とされたい。

## 令和8年度予算審査からの意見・提言

### 1 小学校現場における生理用品配備と包括的性教育についての意見・提言

予算審査委員会において、「小学校への生理用品配備の拡充について」というテーマで自由討議を行った。討議においては、準備が整い次第、速やかに実施すべきであるとの意見がある一方、単に生理用品を配備するだけではなく、学校現場における運用体制や支援の在り方も含めて検討すべきであるとの意見や、中学校での実施状況や課題を十分に検証した上で判断すべきであり現時点で直ちに予算措置を講ずることについては慎重であるべきとの意見も示された。

以上の議論を踏まえ、学校現場における十分な検証と必要な準備を進める観点から、以下のとおり提言する。

- ①トイレへの生理用品の配備については、2025年以降の本市中学校現場での実施状況や他自治体の事例を丁寧に検証し、その成果や課題を十分にふまえて本市小学校現場での展開について検討されたい。
- ②児童生徒の心身の発達、性と生殖の仕組み、人権感覚といった幅広いテーマを含む「包括的性教育」の充実については、学校現場、地域社会、家庭との連携を図りながら、必要な環境整備を検討されたい。学校現場においては、保健室の養護教諭などを核とした相談支援体制の更なる検討を図られたい。

## 2 「市民に愛される公共施設」についての意見・提言

市民に愛される公共施設について、予算審査委員会において自由討議を行った。現在、本市においては「ファームガーデンやくの」の再構築をはじめ、新文化ホール、企業交流プラザ、全天候型陸上競技場など、市民生活や行政運営に多大なる影響を及ぼす大型公共施設整備が数多く予定されている。

公共施設は、建設がゴールではなく、その後のライフサイクルを通じて市民生活の質を向上させ続けるべき重要な資産である。一方で、完成後の利用低迷や、中長期的な運営維持に伴う財政負担の増大は、喫緊の解決すべき課題である。

公共施設をめぐる議論を踏まえ、今後、本市の公共施設が持続可能な地域インフラとして機能し、次代にわたり市民に愛され続ける施設となるために、以下のとおり提言する。

- ①施設整備にあたっては、行政や設計者のみで進めるのではなく、計画段階から地域住民、利用者、関係団体など当事者の声を丁寧に聴くプロセスを重視する必要がある。また、市民が当事者意識を持ち、将来にわたり愛着を持って使い続けられるよう、市民協働による施設づくりの仕組みを検討されたい。
- ②赤字・黒字という収支のみで施設の価値を判断するのではなく、文化的な意義、教育・福祉への寄与、地域経済への波及効果など、公共施設としての多面的な価値を評価する視点が必要である。公共施設マネジメントの推進においては、施設の利用人数や満足度調査、施策レビューなど多角的な評価指標を活用し、PDCA サイクルが確実に回る持続可能な運営体制の構築を検討されたい。
- ③施設整備やリニューアルは、将来の事業内容や財政状況に大きく影響を及ぼす。執行部におかれては、事業の必要性や整備方針、収支シミュレーションなどの妥当性について、議会への丁寧な説明と十分な情報共有を行い、議会としても責任ある判断ができるよう、議論を深める時間を十分に確保されたい。